

アメザクラ

詞・曲 カイン

桜並木の 咲き誇る下には
夢破れた遠き人達の 思いが眠る

花は一つ一つ なぐさめをおくるように
雪降る如く 散り落ちてゆく
過ぎし日に ひかれながら…

風は 優しく暖かく すべてを包んでゆくように
揺らしながら 枝の海 過ぎてゆく

冷たさはない^{たま}珠のような雨
一つ二つ 落ちては跳ねて 形を失う

いつか咲き誇っていた桜の花びらも
今は解けゆく雪のように 汚れてゆくだけ…

雨上がりに色づく空は いまだ残る傷を癒すように
やわらかな^ひ陽を差しのべて 季節を移しゆく

桜並木も いつか忘れ去られ
薄れゆく春の香^かの中で 栄華を想う

立ち止まることもなく 人も時も流れる
今という時を深く思うこともなく 別れを置き去りに

風は 優しく暖かく すべてを包んでゆくように
揺らしながら 枝の海 過ぎてゆく

風は 優しく暖かく すべてを包んでゆくように
はなやぎしうたのあと 過ぎてゆく